

特別活動（ホームルーム）指導案

令和4年10月 第3学年 指導者 金岡 いずみ

- 1 題材名 「アサーティブなコミュニケーションの事例検討と、リーフレットの作成」
ホームルーム活動 2（2）ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

- 2 題材観 ※省略

- 3 生徒の実態及び指導方針 ※省略

- 4 研究との関わり

本研究では、自他を尊重しながらコミュニケーションをとることのできる生徒の育成をテーマとしている。令和4年度県立学校教育指導の重点では、人間関係形成等に視点をおいた指導として、ホームルーム活動において、コミュニケーション能力の育成に関する活動等の展開を通してよりよい人間関係を築く力を養うこととしている。

本時では、理論を知るホームルーム活動以降生徒が実践してきたアサーティブな自己表現の振り返りを行う。まず、生徒の実践レポートから事例を取り上げ、DESC法に基づいたアサーティブな解決策をクラスで話し合う。次に、一人一人が学んだことを深めるために、自他を尊重したコミュニケーションについての考えをリーフレットにしてまとめる。作成したリーフレットは、1人1台端末に配信することで、アサーティブな自己表現を学校全体で共有したり、リーフレットを改善させたりと、学びの効果を高めるよう振り返りの環境を充実させる。

- 5 題材の目標

- (1) 相手の気持ちも自分の気持ちも尊重しながら自己表現をするアサーティブな方法としてのDESC法を理解できるようにする。（知識及び技能）
- (2) 自他を尊重したコミュニケーションを目的・場面・状況に応じてとることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) 日常のコミュニケーションがよりよくなる方法について、傾聴と主張のバランスをとりながら自他の意見を共有しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

- 6 題材の評価規準

- (1) よりよい生活を築くための知識・技能
相手の気持ちも自分の気持ちも尊重しながら自己表現をするアサーティブな方法としてのDESC法を理解している。
- (2) 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現
自他を尊重したコミュニケーションを目的・場面・状況に応じてとっている。
- (3) 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常のコミュニケーションがよりよくなる方法について、傾聴と主張のバランスをとりながら自他の意見を共有しようとしている。

7 指導と評価の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

時間	●ねらい ○学習活動 ☆ ICT 活用	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活で継続してDESC法に基づいたアサーティブな自己表現の実践を積み重ねることができる。 ○アンケート作成ソフトを使い、実践レポートを提出する。(☆) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブな自己表現型を理解している。(レポート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的・場面・状況に応じて、自他を尊重した受け答えをしている。(レポート、発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重してコミュニケーションをとろうとしている。(レポート、発言)
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の気持ちも自分の気持ちも尊重したアサーティブな自己表現について検討し、まとめたものを他者に伝えることで理解を深め、コミュニケーションスキルを高めることができる。 ○DESC法に基づいたアサーティブな自己表現の具体的な事例を確認する。 ○文書作成ソフトを使い、提示された場面で、DESC法に基づいてアサーティブに解決する方法を発表し合う。 ○文書作成ソフトを使い、自他を尊重したコミュニケーションに関するまとめのリーフレットを作る。 ○自他を尊重したコミュニケーションについて整理する。 ○文書作成ソフトを使い、他の班のリーフレットを読み、コメントを書く。 ○自他を尊重したコミュニケーションに対する様々な視点を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DESC法のポイントを踏まえて、自他を尊重したアサーティブなコミュニケーションを理解している。(リーフレット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・DESC法のポイントを踏まえて自他を尊重したコミュニケーションについて説明するとともに、学んだことについての自分の感想や考え、アサーティブな実践例を表現している。(リーフレット、発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや経験したことを総括しながら、自分の考えと他の生徒の考えを比較し、よりよいコミュニケーションのとり方を見いだそうとしている。(リーフレット、文書作成ソフトで記入するコメント)
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●自他を尊重したコミュニケーションについての理解を更に深め、日常生活でアサーティブな自己表現を実践することができる。 ○共有したリーフレットを参考にしながら、日常生活で継続してアサーティブな自己表現を実践する。 ○日常生活でのアサーティブな自己表現の実践を、アンケート作成ソフトを使って報告する。 ○日常生活でのアサーティブな自己表現の実現具合を確かめるために、アンケート作成ソフトを使ってアサーティブ度チェックに回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重したアサーティブなコミュニケーションを理解している。(リーフレット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や相手に応じて、自他を尊重したアサーティブな言動を実践している。(発言、行動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を日常のコミュニケーション場面で生かそうとしている。(発言、行動)

8 本時の展開

(1) ねらい

事例を用いて、相手の気持ちも自分の気持ちも尊重したアサーティブなコミュニケーションについて検討し、まとめたものを他者に伝えることで学んだことの理解を深め、自分自身のアサーティブなコミュニケーションスキルを高めることができる。

(2) 準備

【生徒】 ICT 端末

【教師】 ICT 端末、プロジェクタ、スクリーン、DESC法リーフレット

(3) 展開

時間	○学習活動 ・想定する生徒の意識 ☆ ICT 活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>[本時の学習課題] (めあて) アサーティブなコミュニケーションスキルを高めよう。</p> </div>	
30分	<p>1 相手の気持ちも自分の気持ちも尊重するためのDESC法を確認する。</p> <p>○他の生徒の実践例を見て、アサーティブなコミュニケーションかどうかを班で検討し、文書作成ソフトに書き表す。(☆)</p> <p>・その対応は、アグレッシブ／非アサーティブ／アサーティブだ。自他を尊重するには、こういう言いの方がよさそうだ。</p> <p>2 自他を尊重したコミュニケーションについてまとめる。</p> <p>○自他を尊重したコミュニケーションについてまとめたリーフレットを文書作成ソフトで作成する。(☆)</p> <p>・班で役割を分担し、記事を作成する。</p>	<p>◎日常生活の様々な場面での対応を考えることができるように、他の生徒の体験した場面を使ってアサーティブな対応を考える。</p> <p>◎アサーティブな返答になるように、DESC法を活用する。</p> <p>○DESC法を取り入れながらも自然なコミュニケーションになるように、班内で検討させる。</p> <p>●他の生徒の意見を参考にしよう個別に声を掛ける。</p> <p>◇DESC法のポイントを踏まえて、自他を尊重したアサーティブな自己表現を理解している。</p> <p>◎自分が学んだことを整理し、他者に発表・共有できるように、リーフレットにまとめる。</p> <p>○自他を尊重したコミュニケーションをとるために必要なことを表現できるように、班内で検討する。</p> <p>●自分が担当する部分の記事を作成できるよう、他の生徒との調整を図ったり、個別に考えを引き出せるような補助発問を行ったりする。</p> <p>◇DESC法のポイントを踏まえて自他を尊重したコミュニケーションについて説明するとともに、学んだことについての自分の感想や考え、アサーティブな実践例を表現している。</p>
5分	<p>3 他の班のリーフレットにコメントを書く。</p> <p>○文書作成ソフトを使って、感想やアドバイスをコメントとして入力する。(☆)</p> <p>・互いのリーフレットのよいところや、改善できるところを教え合ったり、自分のリーフレットを改良したりする。</p>	<p>◎他の生徒の考えと自分の考えを比較して、リーフレットがよりよいまとめになるように、他の班のリーフレットを読んでコメントを書く。</p> <p>◎コメントを読んで互いの学びになるように、自分のリーフレットにはない視点を取り入れたり、よりよいリーフレットになるためのアドバイスを書いたりする。</p> <p>◇学んだことや経験したことを総括しながら、自分の考えと他の生徒の考えを比較し、よりよいコミュニケーションのとり方を見いだそうとしている。</p>

5分	<p>4 本時の振り返り</p> <p>○自他を尊重したコミュニケーションの理解が深まり、人に教えることができるようになったかをアンケート作成ソフトで回答する。</p> <p style="text-align: right;">(☆)</p> <p>・自他を尊重したコミュニケーションに対する理解を深め、継続して日常生活に生かそうとする気持ちになっている。</p>	<p>○今後の実践の見通しがもてるよう、本時のめあての達成状況を確認する。</p>
<p>[本時の活動を通して決定したこと]</p> <p>授業後もアサーティブなコミュニケーションを継続できているか、引き続き報告する。(実践レポート)</p>		

(4) 板書計画

授業スライド

相手も自分も大切にする コミュニケーション 第2回

～アサーティブなコミュニケーションスキルを高めよう～

文書作成ソフトを用いた事例検討

A子: 併願校に、A大学を受けたいんだけど。

母: A大学なんて、遠くて一人暮らしになってしまうでしょう?あなたに一人暮らしは無理でしょう?

< 1 班 >

A子: 「 _____ 」

アンケート作成ソフトによる
振り返りの形式

6月の第1回授業以降、あなたは、相手のことも、自分のことも大切に考えながら、コミュニケーションを取ることを意識していますか?

相手のことも、自分のことも、大切に考えられるように意識している。(アサーティブ)

自分のことは大切に考えるが、相手のことはあまり大切に考えられないことが多い。(アグレッシブ)

相手のことは大切に考えるが、自分のことはあまり大切に考えられないことが多い。(非アサーティブ)

生徒へ配布したリーフレット

さわやかな自己表現のための
アサーション・トレーニング
DESC法(デスク法)

<シチュエーション例>: 部活終わりのミーティングがうまくまとまらず、終了予定も15分オーバーしています。あなたには次の予定がある。どうしても帰らなければなりません。

[D] 「Describe: 描写する」
客観的な事実や状況を具体的に話す。
(言い方には気を付ける。) 例: 「予定の時間を過ぎてるね。」

[E] 「Explain: 説明する」
自分の主観的な気持ちを述べる。感情的にならず、思いやりの持って、建設的に伝える。(嘘はダメ。) 例: 「みんなも次の予定があるんじゃないかな?しつは私には次の予定があって、もう帰らないとんだ。」

[S] 「Specify: 提案する」
相手に望む解決策を具体的に提案。(言いつらいかもしれないが、ここを言わないと我慢がたまる。) 例: 「いったんここでまとめて、次のミーティングの日程を決めるのはどう?」

[C] 「Choose: 選択する」
同意されなかった場合の選択肢を準備。「あるいは...」「もし難しければ...」など、NOと言われる場合の選択肢や代替案を考えておく。
例: 「私たち、話し合いを続けたい」と言われて...
「もし今日帰れるなら、もう帰らないといけないうから、本当に悪いんだけど先に帰らせてもらおうね。」

YES

NO

アンケート作成ソフトによる
実践レポートの形式

授業後に出くわした主張・提案・お断りなどのコミュニケーション場面を教えてください。*

記述式テキスト (長文回答)

その場面で、どのように対応しましたか?*

アグレッシブ (自分はOKだが、相手はNOT OK)

非アサーティブ(相手はOKだが、自分はNOT OK)

アサーティブ(自分もOK、相手もOK)